



平成26年2月12日
中部地方整備局

郡上市と名古屋市が新たに歴史まちづくりの仲間入り ～中部地方の歴史まちづくり計画の認定数が9件に！～

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」第5条に基づき、岐阜県郡上市及び愛知県名古屋市から計画認定申請があった歴史的風致維持向上計画について、2月14日に主務大臣（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）による認定が行われ、以下のとおり、坂井国土交通大臣政務官が、主務大臣連名の認定証を郡上市長及び名古屋市長に交付します。

中部地方整備局管内では、これまで7市町（高山市、亀山市、犬山市、恵那市、美濃市、明和町、岐阜市）が認定を受けているところですが、今回2市が加わることにより9市町となります。

認定証交付の日時：平成26年2月14日（金） 17：00～

認定証交付の場所：国土交通省（中央合同庁舎3号館）4階

坂井大臣政務官室

（東京都千代田区霞が関 2-1-3）

※奈良県斑鳩町についても、同日認定されます。

※冒頭より認定証の手交までカメラ撮り可。

※カメラ撮りをご希望の方は、当日16：45までに4階エレベーターホールにお集まりください。

配布先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ

解 禁：坂井国土交通大臣政務官手交後解禁

資 料：別紙

【担当・問い合わせ先】

国土交通省 中部地方整備局 建政部 計画管理課 課長 太田 喜久

課長補佐 林 美隆

TEL 052-953-8571・FAX 052-953-8605

◎歴史的風致維持向上計画の認定について

「歴史まちづくり法」は、地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを支援すべく平成20年5月に公布され、同年11月に施行されました。

この法律は、我が国固有の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致について、市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国が認定することで、法律上の特例や各種事業により市町村の歴史まちづくりを支援するものであり、これまで高山市、亀山市等41市町の計画を認定しています。

この度、郡上市・名古屋市・斑鳩町が認定されたことにより、認定数は44市町となります。

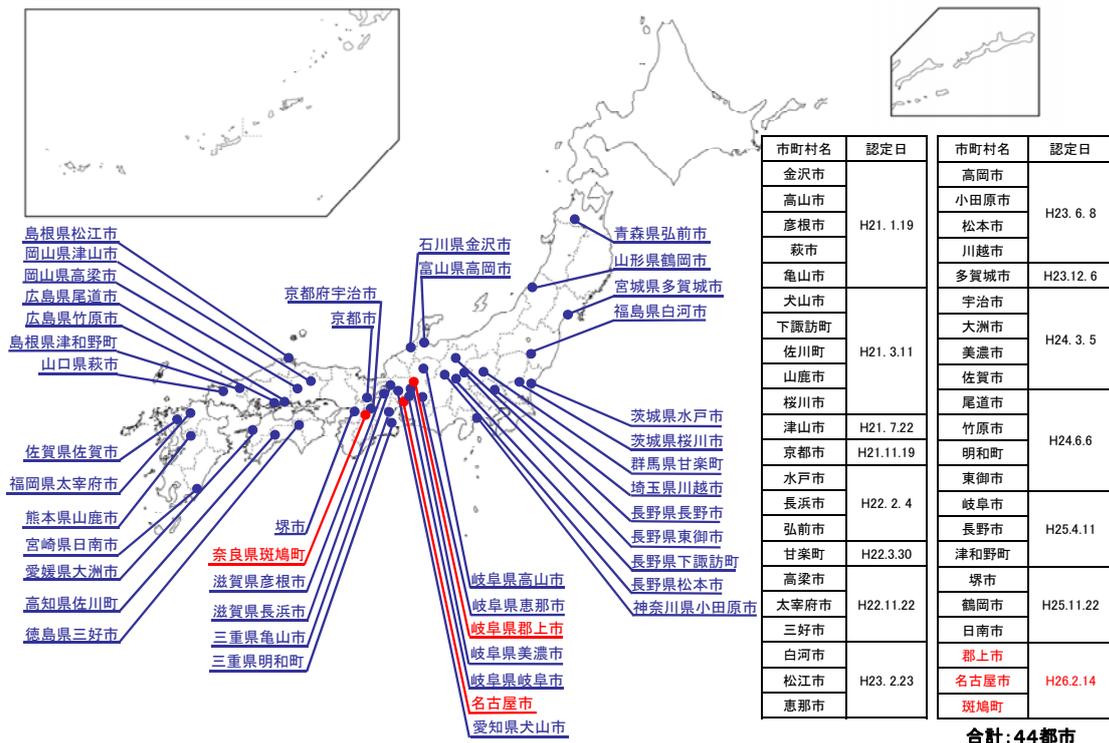
◎全国の地方整備局等管内の認定状況

地方整備局等	認定件数
中部地方整備局	9
関東地方整備局	9
中国地方整備局	7
近畿地方整備局	6
東北地方整備局	4
九州地方整備局	4
四国地方整備局	3
北陸地方整備局	2

◎中部地方整備局管内の認定状況

	市町村	認定日
1	高山市	H21.1.19
2	亀山市	H21.1.19
3	犬山市	H21.3.11
4	恵那市	H23.2.23
5	美濃市	H24.3.5
6	明和町	H24.6.6
7	岐阜市	H25.4.11
8	郡上市	H26.2.14
9	名古屋市	H26.2.14

◎全国における歴史的風致維持向上計画の認定状況



◎郡上市及び名古屋市の計画の概要

①郡上市歴史的風致維持向上計画（岐阜県郡上市 認定申請日 H26.1.10）

重要伝統的建造物群保存地区「郡上市郡上八幡北町地区」^{ぐじょうしぐじょうはちまんきたまちく}を含み、郡上踊等の祭礼や多様な形態の伝統的水利用等の活動が受け継がれ、近世から受け継がれてきた洗い場等の水利用施設や町家等の歴史的建造物が残る八幡城下町の区域を重点区域とし、歴史的建造物の保存修理、伝統的水利用施設の整備、伝統的しつらえの整備支援等の事業が位置づけられています。



【洗い場での水利用の様子】

②名古屋市歴史的風致維持向上計画（愛知県名古屋市 認定申請日 H26.1.20）

特別史跡「名古屋城跡」等を含み、天王祭^{てんのうさい}等の祭礼や屋根神信仰^{やねがみしんこう}等の活動が受け継がれ、寺社や町家などの歴史的建造物が残る「名古屋城周辺地区」、史跡「断夫山古墳」^{たんぷさん}を含み、熱田祭^{ねつたまつり}や御陵墓祭^{ごりょうぼさい}等の祭礼が受け継がれ、神社などの歴史的建造物が残る「熱田地区」、史跡「白鳥塚古墳」^{しらとりづか}を含み、茅の輪くぐりや提灯祭り等の祭礼が受け継がれ、古墳などの歴史的建造物が残る「志段味地区」^{しだみ}の3箇所を重点区域とし、名古屋城本丸御殿の復元、歴史的建造物の修理・修景、山車の保存修理等の事業が位置づけられています。



【城下町を練り歩く那古野神社の天王祭】

【計画についてのお問い合わせ先】

○郡上市建設部都市住宅課

0575-67-1814

○名古屋市住宅都市局都市計画部

歴史まちづくり推進室

052-972-2782

郡上市の維持向上すべき歴史的風致

郡上のはじまりは古く、斉衡2年（855）に美濃18郡の一つとして武儀郡から分置された記録から始まり、鎌倉期までに成立した白山文化や、中世期の武家歌人東氏により郡上の文化の礎が築かれた。また、藩政期には郡上一揆や郡上藩凌霜隊などの様々な事跡を有している。

郡上八幡市街地は近世初期に形成された山と川に囲まれた城下町であり、町の骨格が変わることなく現代に受け継がれ、建物も近世から近代まで町家建築で建てられてきた。郡上八幡市街地北部に位置する北町地区は大正8年の大火で焼失したが、大火後も町家は建てられ続け、郡上八幡市街地全体にみることができる。

(1)水のまち郡上八幡にみる歴史的風致



洗い場

水舟

町郡上八幡市街地では、水と向き合う人々の活動により、いたるところで水舟等の多様な水利用形態がみられる。水の透明感、耳にする流水の水音が暮らしの息づかいを感じさせ「水のまち郡上八幡」の固有の歴史的風致を形成している。

(2)郡上踊にみる歴史的風致



登祥祭

郡上踊は近世の城下町で踊られていた盆踊を体系化しながら継承されてきた。城下町の町継承した町屋等の歴史的建造物が多く残る町並みに、お囃子と踊が溶け込んで歴史的風致を生み出している。

(3)城下町の大神楽にみる歴史的風致



日吉神社 大神楽

城下町の歴史を伝える神社や町並みを背景に行われる岸劔神社、日吉神社、八幡神社の大神楽。春の到来を伝え、城下町に息づく人々のつながりと町の一体感とともに、歴史的風致を醸し出している。



(7)九頭の祭にみる歴史的風致

近世の天領、旗本領の時代から継承されてきた、戸隠神社で行われる九頭の祭。

上沢・宮地の住民たちが演じる芸能と周辺の開けた田園風景によって歴史的風致を醸し出している。



本楽 大神楽

(4)長滝白山神社と長滝の延年にみる歴史的風致

長滝地区は、白山信仰の拠点であった美濃馬場の中心的な存在である。

白山信仰で隆盛を極めた壮大な伽藍配置や、山岳信仰として多くの参拝登山者を集めた長滝白山神社では、中世から伝わる「長滝の延年」や「花奪い」が六日祭として行われている。



花奪い

(5)明建神社と七日祭にみる歴史的風致



獅子起こしの舞

中世の郡上市を支配した東氏によって建てられた明建神社において、大和町牧及び落部の人々によって受け継がれている七日祭。神社周辺に集積した東氏関連の史跡等とともに、中世の郡上を現在に伝えている。

(6)白山神社と寒水の掛踊にみる歴史的風致



お庭踊り

白山神社の拝殿前で3.6mのシナイを背負っての拍子打ちをはじめ、さまざまな役が演じられる寒水の掛踊。農村の田園風景の中に位置する白山神社とともに歴史的風致を醸し出している。

郡上市の重点区域における施策・事業概要

名称：城下町郡上八幡
面積：818ha

ポケットパーク整備事業



ポケットパーク整備イメージ

市道に隣接する公共施設（八幡公民館）の駐車場にポケットパークを整備する。また、歴史的風致やマナー啓発に関する情報を掲示する。

歴史的風致形成建造物修理修景事業



長良川鉄道
郡上八幡駅舎

旧林療院本館

重点区域内において、歴史的風致形成建造物を維持・保存する修理に伴う工費の一部を助成する。

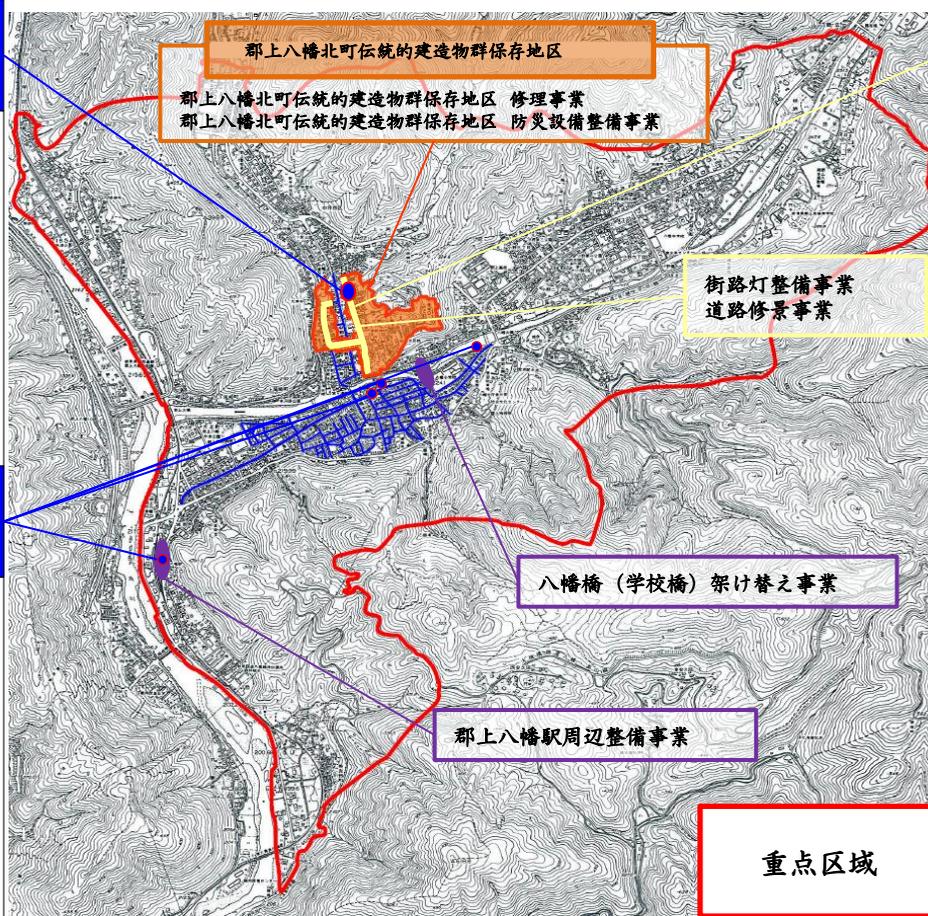
伝統的水利用施設整備事業



木製水舟

コンクリート製水舟

町並みや、暮らしと一体となって地域のコミュニティを形成してきた多様な形態の水環境や、それに付随する備品（セギ板等）を補修・整備することによって伝統的水利用を促進する。



防災設備整備事業



現状の消火栓

整備イメージ

市街地の防災計画の策定に合わせ、災害抑制、地域住民による初期消火、効率的に防災活動に取り組める設備導入を検討するとともに、修景整備も行う。

電線類無電柱化事業



電線類無電柱化の整備イメージ

重点区域内の3路線において、景観向上や市街地交通の円滑化とともに、災害発生時の緊急対応能力の向上のため電線類の地中化を行う。

由緒書整備事業



案内板

由緒書

伝統的水利用、郡上踊、大神楽に関する由緒書、活動紹介を設置する。（仮称）城下町郡上八幡案内サイン等整備ガイドラインを作成し、景観に配慮しながら分かりやすい案内板を設置する。

- 歴史的建造物とその周辺景観の修理・修景に関する事業
 - 歴史的風致形成建造物修理修景事業
 - 歴史的建造物に関する修景助成事業
 - 郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区修理事業
 - ポケットパーク整備事業
 - 登録有形文化財公開活用整備事業
 - 空家利活用事業
- 伝統文化の継承に関する事業
 - 伝統的しつらえ整備支援事業
 - 祭礼活動及び用具整備支援事業
 - 重点区域の文化遺産 記録作成・調査研究事業
 - 重点区域の文化遺産 情報発信・人材育成事業
- 水源、水路網の維持と水利用システムの継承に関する事業
 - 伝統的水利用施設整備事業
- 回遊性の向上と情報発信に関する事業
 - 八幡橋（学校橋）架け替え事業
 - 郡上八幡駅周辺整備事業
 - 由緒書整備事業
 - 城下町交通体系検討調査
- 町並みと周辺環境の景観形成に関する事業
 - 防災設備整備事業
 - 電線類無電柱化事業
 - 街路灯整備事業
 - 道路修景事業
 - 郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区 防災設備整備事業

名古屋市の維持向上すべき歴史的風致

①名古屋城と名古屋城下町を舞台に展開した祭礼に見られる歴史的風致

江戸時代、名古屋城下では山車などが出される祭りが華やかに行われていました。主要な祭りであった東照宮祭、三之九天王祭（現・那古野神社祭礼）、若宮祭は、現在も本町通周辺で、那古野神社・若宮八幡社の社殿や料亭河文（登録有形文化財）等の歴史的建造物を背景に続けられています。

また、筒井・出来町（東区）や堀川にほど近い広井（中村区）にも多くの山車が残されています。



那古野神社祭礼

④堀川・四間道界隈に見られる歴史的風致

名古屋城と城下町の建設にあわせて開削された堀川の舟運は、名古屋の発展に大きく貢献しました。堀川沿いに形成された町である四間道界隈では、今でも蔵の立ち並ぶ景観や昔ながらの路地を背景に屋根神信仰、地藏盆、浅間神社の祭りなどが行われ、下町情緒を醸し出しています。



四間道界隈の屋根神

②熱田神宮等に見られる歴史的風致

熱田神宮等では、様々な伝統行事が続けられています。熱田祭（例祭）に出される献灯まきわらは、かつて熱田の人々によって出された山車に由来するものです。また、市内には、熱田神宮ゆかりの古墳や神社が多く、断夫山古墳では御陵墓祭が、氷上姉子神社に隣接する大高斎田では熱田神宮へ奉納する稲を植える御田植祭が行われています。



熱田祭（献灯まきわら）

名古屋は、古くは地方勢力の拠点として、江戸時代は御三家筆頭である尾張徳川家の城下町として、また近代以降は我が国における経済産業の一大拠点として発展してきました。

こうした歴史を背景に、名古屋市内には、名古屋城下町を中心に行われてきた山車祭りや熱田神宮の伝統行事、街道や城下町の周辺地域で独自に発展してきた祭り、近代化や戦災復興の中で始まった営みなどが歴史的建造物とともに残され、歴史的風致を形成しています。

③尾張氏ゆかりの地、志段味に見られる歴史的風致



尾張戸神社の茅の輪ぐり

上志段味地区には、市内最古の大型前方後円墳である白鳥塚古墳をはじめ、多くの古墳が残されており、古代に活躍した尾張氏のルーツの地と考えられています。古墳の上に建立された尾張戸神社や勝手社では、茅の輪ぐりなどの伝統行事が行われ、地域の歴史を感じることができます。

⑤街道や城下町の周辺地域等に見られる歴史的風致



有松の町並みと山車祭り

有松では、東海道の歴史的な町並みを背景に山車祭りが行われ、美しい歴史的風致を形成しています。

尾張四観音として、人々に親しまれている荒子観音、龍泉寺、笠寺観音、甚目寺（あま市）には、今も節分の行事とともに恵方参りの風習が残り多くの人が訪れます。

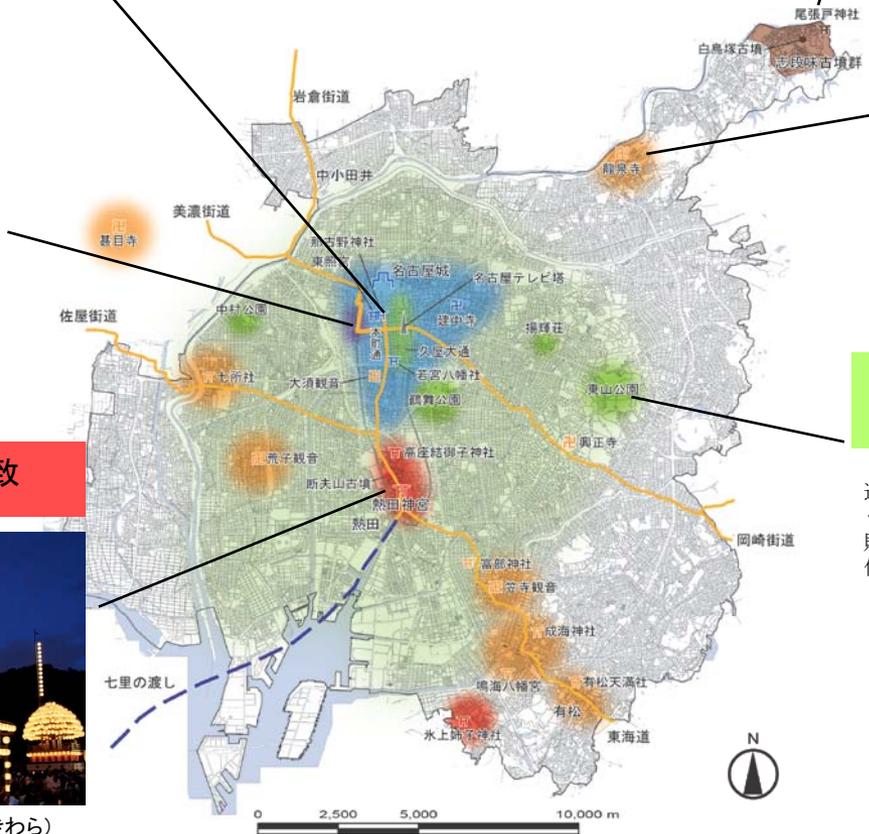
⑥大都市名古屋の発展過程に見られる歴史的風致

明治時代以降、名古屋は産業発展を遂げ、港・道路・運河などが整備されました。鶴舞公園などの大公園もつくられ、市民の憩いの場として歴史を重ねてきました。財界人の別荘としてつくられた揚輝荘も当時の文化を現代に伝えています。



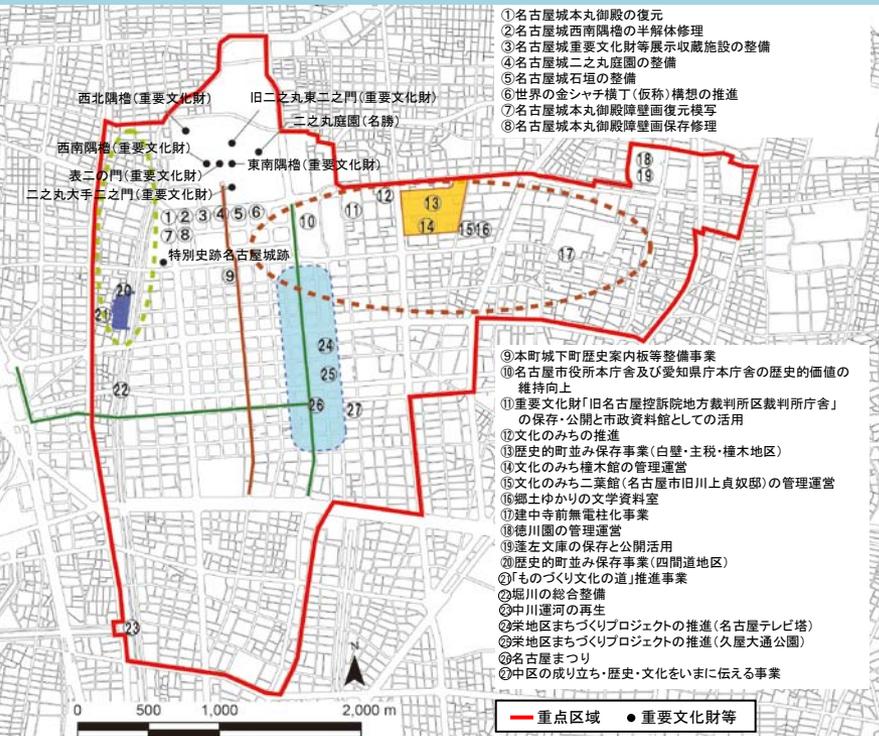
名古屋まつり

戦災からの復興を契機に始まった名古屋まつりは、広幅員の道路や名古屋テレビ塔などを背景に、半世紀以上にわたって開催され、名古屋が誇れる歴史として、市民に根付いています。



名古屋市の重点区域における事業の概要

名古屋城周辺地区



①名古屋城本丸御殿の復元

戦災で昭和20年に焼失した名古屋城本丸御殿を、史実に基づき忠実に復元する。平成25年5月29日に第1期公開（玄関・表書院）を開始。平成30年度全体公開予定。



本丸御殿復元イメージ

⑫文化のみちの推進

名古屋城から徳川園に至る一帯を「文化のみち」として育み、「文化のみち二葉館」「文化のみち榎木館」の管理運営や、旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸などを活用した各種展示や催しを行い、貴重な建築遺産の保存活用を進める。



文化のみち二葉館

⑨本町城下町歴史案内板等整備事業

名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、名古屋城への来訪者を「本町城下町エリア」に引き出すため、歴史を紹介する案内板や山車の模型、名古屋城から本町門へのアプローチの整備などを行う。



山車の模型イメージ

⑩名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁本庁舎の歴史的価値の維持向上

帝冠様式の近代建築として登録有形文化財となっている市役所本庁舎・県庁本庁舎について、両者の並立する景観と歴史的価値の維持向上を図るとともに庁舎の公開等を行う。



市役所本庁舎(左)と県庁本庁舎

熱田地区



①尾張名所図会看板の整備

熱田地区において、市民の歴史に関する関心と歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した尾張名所図会の看板を設置する。

看板イメージ

- ①尾張名所図会看板の整備
- ②水上交通ネットワークの検討
- ③熱田区役所における歴史資料展示

志段味地区

「歴史の里」整備事業(拠点地区を中心に重点区域内各所)(古墳等の整備、全体ネットワーク化事業、公開活用事業)



「歴史の里」整備事業

貴重な文化財である史跡白鳥塚古墳をはじめとする志段味古墳群の復元整備を行うとともに、郷土の歴史・文化の学習と自然体験ができるようガイダンス機能を有する施設や案内板の整備等を行う。



史跡白鳥塚古墳